

足利学校(昌平町)

創設については奈良、平安、鎌倉時代と諸説があるが、室町時代に上杉憲実によって中興され、儒学、易学、漢方医学などを教えた日本最古の総合大学。現在も当時の古書(国宝)が多数保存されている。
受付時間: A M 9: 00~ P M 4: 00 季節により変更あり)
休館日: 毎月第3月曜日、年末年始ほか
TEL 0284-41-2655 P 8台(他大型1台可) 太平記館観光駐車場)
<http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/>(足利市役所)



日本一の足利3名所



栗田美術館(駒場町)

足利市郊外にあり、3万坪の自然庭園を有する世界最大規模の陶磁器美術館。伊萬里・柿右衛門・鍋島を展示している。
開館時間: 午前9時30分より午後5時
休館日: 月曜日(祝日の場合翌日) 年末年始
季節により変更あり
TEL 0284-91-1026(代表) P 40台
<http://www.kurita.or.jp/>(栗田美術館)



ばんえい 鑓阿寺(家富町)

建久7年(1196年)源性足利氏2代目の義兼が館の中に持仏堂を建て、守り本尊の大日如来をまつたのが始まりとされる。創建以来800年の歴史を有する足利氏一門の氏寺。毎年2月3日には武者姿の市民が参集して追灘を行う「鑑年越」。9月には薪の燈だけを明かりに能を舞う「薪能」。そして5月と11月にはそれぞれ「例大祭」が催される。
TEL 0284-41-2627 P 8台(他大型1台可) 太平記館観光駐車場)
<http://www.takauji.or.jp/kankoukyo/>(足利市観光協会)

あしかがフラワーパーク(追間町)

約2万5千坪の敷地内に、様々な花木が栽培されている。なかでも日本で始めて移植された大藤が見事。そのほか、食事のできるビアレストランも併設され、四季を通して多くの観光客で賑わう。
開園時間 A M 9: 00~ P M 6: 00
(季節によって変更あり)
休園日 木曜日(4~6月は無休)
TEL 0284-91-4939 P 300台(他大型4台)
<http://www.ashikaga.co.jp/>(あしかがフラワーパーク)



足利 あしかが

足利リンクタワー21 <http://www.watv.ne.jp/~ashikaga>

日本一の足利3名所

関東平野の北端、栃木県南西部にある足利市は、古くから織物で栄えた歴史と文化のまちです。

日本最古の総合大学「足利学校」と足利氏ゆかりの屋敷跡「鑓阿寺」、樹齢130年の大藤が見事な「あしかがフラワーパーク」、そして伊萬里、鍋島の陶磁器美術館「栗田美術館」からなる「日本一の足利3名所」と、蕎麦、ワイン、和菓子の「足利3名物」が全国に広く知られています。

ワイン(ココ・ファーム・ワイナリー/田島町)

足利の北方山麓に開かれた知的障害者施設「こころみ学園」のワイン醸造場。2000年の沖縄サミットの乾杯で使用されたワインを輩出。市内の酒販店でも取り扱っている。
ゲストルーム: A M 9: 30~ P M 5: 30
休園日: 8月13日~17日、12月30日~1月3日
TEL 0284-42-1194 P 30台
<http://www.cocowine.com>
(ココ・ファーム・ワイナリー)



足利3名物



蕎麦

遠く日光連山へと続く山並みは、蕎麦の命とされる良質な水を育み、栄華を極めた機屋の旦那衆の庇護のもと、その高い技術は綿々と受け継がれてきた。この流れを汲む約8軒の「蕎麦処足利」の職人達が、心意気と技術を今に伝えるべく日々切磋琢磨を重ねている。

和菓子

足利市は室町文化ゆかりのまち。こうした時代背景から、茶の湯は古くから市民の生活に溶け込んだものになっている。同時に和菓子へのこだわりも並々ならぬものがあり、和菓子職人衆がその味を今に伝承すべく、日々精進している。

